

# ビルメン

## 便り

京都協会が始めた  
会員企業との  
新しい関わり方をレポート



### 京都府

活動報告

### 事務局からの情報発信で、親しみある協会に！

年4回発行の  
「KBMA(京都ビルメンニュース)」に  
同梱している「事務局だより」。



「大事なことはKBMA(京都ビルメンニュース)に載せているので、事務局だよりには、あえて些細、なことも掲載するようにしています」



京都ビルメンテナンス協会  
南部さん

### 親

しみある協会を目指して、新たな活動を始めた京都協会。会員企業との距離を縮めようと、さまざまな企画を打ち出し、奔走しているのが、事務局の南部翼さん、織田理子さん、白井裕美さんの3人だ。昨年夏から独自に発行している「事務局だより」では、「肉が大好きな南部です」「ベトナム料理にはまっている白井です」など、気さくな挨拶文とともに、協会イベントやニュースなどの身近な情報を発信している。

京都協会が、会員企業との関わり方を見直すようになったきっかけは、事務局長の南部さん自身の体験が関係しているという。以前は会員企業の事務職だった南部さん。当時は協会とつながりがなかったため、事務職には関係のない場所だと思っていたと振り返る。

「会員企業にいても、協会と関わる方は一部に限られてしまっています。会費を払っていただいている以上担当の方以外にも、会員企業さまと協会は仲間と思ってもらいたいという気持ちから『事務局だより』を発行し始めました(南部さん)よりオープンな協会を目指して、

この他、賛助会員さま向けの新しいサービスとして、年4回の「KBMAニュース」に企業広告チラシを同梱するサービスも開始したばかりだという。「賛助会員さまにも協会に入って良かったと思っただけのように、私たちが何ができるのか思案中です」と、新たな会員募集に力を注いでいる。



事務局の皆さんが、それぞれの画風を生かして制作したLINEスタンプ。「これなに? と一般の人に興味を持ってもらえたらうれしいです。制作はまだまだ初心者なので、もっと活用できるものを考えていきたいです」(南部さん)